

少年野球随想 6

「ニックネーム」

荒井 義一

雨が降って練習が中止となったので、少年野球チームの愛称を調べてみた。

その命名は非常に単純明快、日曜日だけ試合をするのでサンデーズ、少年だからボーイズ、ワンパクス、ヤンガース、ヤンチャーズ、ジュニアーズ、子どもたちの元気を願うフアイターズ、パワーズ、アタックス、チャレンジャーズ、猛獣、猛禽にあやかってライオンズ、タイガース、ベアーズ、バッファローズ、ドラゴンズ、ジャガース、イーグルス、ホークス、コンドル、フェニックス、そしてロマンチックに夜空に輝くスターズ、ペガサス、オリオンズ、可愛いのもある。ポニーズ、タキーズ、スパローズ、スワローズ、コスモス、アスナロズ、すみれ、若草、双葉、サザナミ、等々・・・

*

さて、わがビークラスの命名は前身であるゴールデンタイガース（このチームについては稿を改めて書く）の残党たちが新チームになるに及んで投票して決めたと聞く。

「ビークラス」を広辞苑でひくと

ネズミ目、ビークラス科、ビークラス属の哺乳類の総称、アメリカとヨーロッパの二種があり前者は北米に、後者は北欧からシベリア、中国北部に分布。体長は一メートルほどで毛色は黄褐色から黒までさまざま、尾は横に扁

平でうるこに覆われる。水生に適応し後肢の指の間に水カキがある。木を噛み倒し、ダムを造りその中の巣で家族で生活、その巣は春の雪解けの氾濫を予防し森林に大いに役立つている。毛皮に利用。とある。

ついでに多摩川の児童百科大辞典や学究の動物図鑑をひらいてみたら

哺乳類で一番長命なのは人間と象で六〇七十年、ビーバーの平均寿命は十九年。

哺乳類のオスは一般に子ども世話をしないが、犬の一種とゴリラとビーバーはメスと一緒に子育て子どもを育てる習慣がある。

これは一大発見だった。

なるほどわがチームはお父さんコーチが多いし、お母さんの応援が多いわけだ・・と初めて納得がいった。

*

最後にアメリカ流の大ボラ話を書いてペンを置く。

一九六〇年、アメリカンリーグが八球団制から十球団制に移行したとき、ワシントンセネターズは北米、ミネソタ州の風光明媚な双子都市ミネアポリスとセントポールにフランチャイズを移した。この辺りはカナダに近くビーバーの棲息地である。はじめニックネームを“ミネソタビーバース”にしよつかと思つたが、日本で有名な“ミヤモトビーバース”と紛らわしいので仕方なく“ミネソタツインズ”にした。．．．

*

もの書きとは、ウソの話を本当らしく書く
ものだ。……が百年もたてば
これが史実となる。
日本史だって、世界史だって、凡そこんな
ようなものだ。
さて、爾が上がったようである。

(平成十八年三月十九日脱稿)